

平成28年度 社会福祉法人 進和学園 事業報告書

基本宣言“一人には一人のひかり”“医・職・住・友・悠”を基に、学園の基本方針・重点目標を「本人中心」・「健康と安全」とし、事業の推進をしてまいりました。障がい部門 468 名並びに保育園の園児 267 名が、この1年、明るく元気に過ごせたことは誠にありがたいことでもあります。これもひとえに皆様方のご理解ご支援あってこそ、七つの輪（本人、家族、地域社会、ボランティア、行政、職員、法人役員）の力と、深く感謝申し上げます。

社会福祉法人改革を目的に施行される社会福祉法改正の対応については、平成29年4月に向けて定款変更等をはじめ改正に伴う手続きについて準備を進めました。平成30年度に実施される障害者総合支援法の3年後の見直しにより、障がいの重い方の支援、就労支援、意思決定支援、高齢で障がいのある方、精神障がいのある方、障がいのある児童に対するライフステージに応じた支援が推進される方針です。このような福祉施策の動向を注視しながら、各関係団体、全Aネット等とともに、真に利用者ご本人の自立に向けた取組みができる制度を要望してまいります。

法人としましては、社会福祉法人ときわ会の要請により、平成29年3月31日付でときわ会を吸収合併し、白百合保育園の運営を引継ぐことになりました。社会福祉法改正の流れを受けての法人再編となりますが、子育て支援を推進する上での責務と捉え実施しました。

障がい者の権利条約批准を経て法制度が整い、障害者差別解消法が施行された平成28年度の7月に発生した津久井やまゆり園事件については、強い悲しみと憤りを禁じ得ません。この事件は優生主義に極端に偏った間違った思想によるものであり、社会の差別、偏見も浮き彫りにしました。私たちは福祉の現場から改めて「共に生きる社会」の実現に向けて取組む覚悟であります。

進和学園は、これからもサービスの質を維持し、ご本人、ご家族が安心できるよう最大限努力するとともに、地域に貢献できる施設運営に努めてまいります。

I. 平成28年度目標の具体的成果について

〈 法人の報告 〉

1. 社会福祉法改正に向けて

平成29年4月より施行される社会福祉法改正により、法人組織の再編によるガバナンスの強化、財務規律の強化と透明性の向上、地域における公益的な取組推進、内部留保の明確化等が求められています。進和学園は次のとおり取組みました。

- ・理事会、評議員会、運営協議会の機能の再編
- ・定款変更(平成28年12月21日認可)
- ・評議員選任・解任委員会の設置と開催(平成29年3月2日開催)
- ・役員等の報酬規程の整備

2. 社会福祉法人ときわ会の吸収合併について

平成28年7月に社会福祉法人ときわ会より、法人並びに白百合保育園の運営引継の打診がありました。ときわ会は、昭和28年より白百合保育園を無認可で設置し、民間保育所として地道に取り組みされてきました。開設以来の志を尊重し、平成28年11月23日理事会では前向きに検討することの承認を得ました。神奈川県、平塚市行政の応援指導の下、協議調整を経て平成29年3月12日理事会並びに評議員会の承認を得て、平成29年3月31日付の吸収合併について平塚市より認可を受けました。ついては平成28年度決算(平成29年3月31日付)において、ときわ会の決算額を合算しております。合併手続については、所轄の各関係機関に確認して進めました。合併登記については、法に則り官報に公告し、2か月の期間を空けて登記申請することになります。

〈 重点目標 I 施設整備 〉

1. 「グループホームの拡充」について

グループホームの夜間体制の強化と、障がいの重い人でも利用できる体制作り、小規模な暮らしを基本としたバリアフリーのグループホームについては、引続き検討していきます。

2. 「やましろホームの日中活動室の整備」について

やましろホームは開設から31年が経過し、加齢化により歩行困難な利用者が増えてきました。このため住環境のバリアフリー化を進めてきました。また、自閉的傾向や行動障がいの

ある方は、集団での活動が難しい面があります。そこで、4 人部屋を個室にする改修整備を行いました。日中活動室については、建築基準法等の制約もあるため、隣接するあさひホームとの包括的対応を考慮しつつ、引き続き検討してまいります。

《 重点目標Ⅱ 運営 》

1. 「人材育成の推進」について

人材育成キャリアパスチームとして「階層別研修」「スーパービジョンの展開」「自己研修」「キャリアパス研修」に4本の柱を中心に取組みました。

「階層別研修」では中堅職員を中心に全階層で7回の研修を実施しました。「スーパービジョンの展開」では7施設12名が主に利用者支援について各々目標を立て、バイザー・バイジー間のコミュニケーションが深まりました。「自己研修」では、国家試験に向けて勉強を開始した人、業務に関係の深い資格に積極的に挑戦し見事合格した人など、各々が自分のペースで着実に研修を積み重ねました。「キャリアパス研修」では階層に適した外部研修に参加し資質の向上へと繋がりました。

2. 「人事考課制度の確立」について

職員の意欲を引き出すこと、福祉サービスの向上と組織運営の効率化を図ることを目的に、「平成28年をふりかえって」という題名で、職員のヒアリングを行いました。評価票を作成し、職務遂行・貢献度に応じた自己評価・施設評価・法人評価を実施し、年度末の期末手当に反映しました。今後に向けて評価票の評価軸の検討を進めています。

3. 「生活体系の検討・推進」について

①ビーライトしんわ及びびしんわブライトの放課後等デイサービス事業・・・タイムケア部門（ビーライト単位2:定員20名）と発達障がい児グループ活動部門（ビーライト単位1:定員10名、ブライト:定員10名）の2種類のサービスを提供しました。利用実績は、タイムケア部門で4,566件（稼働率92.8%）、発達障がい児グループ活動部門でビーライト単位1は1,748件（稼働率71.9%）、ブライトは1,774件（稼働率73.0%）でした。タイムケア部門は、下校時刻に学校へ迎えに行き、施設で過ごした後に自宅にお送りしており、ご本人が安心して過ごせる場を提供すると同時に、働くご家族の支援にもなっています。発達障がい児グループ活動部門は、近年増大の一途をたどる「発達障がい」への支援ニーズに応えるべく、グループならではの集団力動を活用したさまざまな運動課題やコミュニケーション課題を取り入れたグループ療育支援を行い、ご本人たちの発達のバランスを整えるきっかけづくりに取り組んでいます。また、平塚市子ども教育相談センターとの連携の下、学校巡回相談を13回実施したほか、学校の先生方からの直接相談にも数多く対応し、普通級に在籍する発達障がい児のための学習環境の整備や対応支援方法の検討に協力しました。

②利用者ご本人の高齢化、障がいの重度化に対し益々医療機関との連携の必要性が高まっています。総合的な保健協力体制、支援技術の向上に引き続き努めています。在宅障がい児者の支援として、万田ホームは短期入所2,634件（稼働率130.7%）、日中一時支援590件、やましろホームは短期入所1,374件（稼働率94.1%）、日中一時支援362件、あさひホームは短期入所1,683件（稼働率115.2%）、日中一時支援172件、はばたき進和は短期入所2,995件（82.1%）、日中一時支援140件を実施しました。*短期入所の稼働率が100%を超えているのは、終了する人と開始する人が重なるためです。

4. 「相談支援事業」について

サンシティひらつか・・・総合相談窓口として業務体制の充実を図り、発達障がい、引きこもり、触法ケース、ファミリーケース等難しいケースにも柔軟に対応しています。国事業である「障害者就業・生活支援センター雇用安定等事業」、県事業である「生活支援等事業」「地域就労援助センター事業」、そして市事業である「障がい児・者 相談支援事業」「地域活動支援センター事業」「障害支援区分認定調査」など生活や就労の多岐にわたる支援を行っています。平成28年度の就労実績は40名となり、相談件数の総数は7,621件でした。その中で雇用・就労関係の相談が4,182件、全体の54%となっています。平成30年度には、精神障害者が法定雇用率の算定基礎の対象となることが決まっており、今後の増大が見込まれます。また障がい児者サービス利用計画作成に係る対応・相談件数は1,923件であり、平

塚市内の指定特定相談事業者が 23 ヶ所に増えた中、その事業者間、また行政との連携、調整・支援にも努めました。

ビーライトしんわ・・・障がい児相談支援事業に取り組みました。

相談支援事業は、今後とも幅広い支援が求められております。業務の充実には専門性が欠かせないため、中堅職員を中心に外部・内部研修を行いました。

5. 「作業体系の充実」について

- ①自動車部品組立作業・・・本田技研工業(株)様の深いご理解ご支援のもと、43年にわたり継続して自動車部品を発注していただいています。ホンダ様からの評価も67ヶ月「ミスゼロ」を継続中です。平成29年度も品質を第一に考え、受注増を増やすために新規部品に挑戦し、(株)研進と協同した受注確保に努力します。
- ②自動車部品以外の作業・・・収入目標を1億6千9百万円としておりましたが、平成28年度の売上は1億7千4百万円と目標を達成しました。生産事業推進会議を中心に、法人全体の横断的、柔軟的な生産事業体系をもって、受注並びに販路拡大に努めました。また各方面の協力もいただき作業種目の拡大を推進しました。特に自主製品の生産については、サンメッセ、ルネッサンス、ともしびショップを窓口し、平塚商工会議所の逸品研究会への参加し、市内商工関係者と連携のもと製品開発、販路拡大、イベント参加を通じ、受注増に努めました。
- ③サンメッセの製パン・製菓・・・平塚市内小学校の学校給食に、小松菜とトマトを練りこんだパンを15,000食納入、また、平成27年度全国逸品セレクション準グランプリに輝いた「湘南みかんぱん」の販売好調もあり、メディア取材や販売依頼も増え、地産地消への取り組みが評価されました。昨年を上回る売上げを達成しました。
- ④ルネッサンスの農産品加工事業・・・平成26年6月の事業開始以来、3年目を迎えました。28年度は原材料のトマトの納入を増やし、生産増に努め、2,448万円を売り上げました。
- ⑤施設外就労・在宅就業障害者支援制度の利用・・・在宅就業障害者支援制度を利用し、在宅就業支援団体である進和学園は、神奈川県公園協会のポット苗育成作業や高根台ホーム様の清掃作業、(株)しまむら様のバックヤード作業や環境整備作業を請負い、施設外就労として取り組みました。また同じく在宅就業支援団体である(株)研進と連携し、関係強化を図りました。
- ⑥就労移行支援・・・企業実習、就職面接、就職相談会等を支援し、平成28年度は6名、平成18年度からこれまでに合計68名の就労実績がありました。一般企業への就労を引き続き推進してまいります。障がい者雇用については平成28年度実績で雇用率9.35%となり、障害者雇用調整金7,182千円を独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構より受給します。
- ⑦いのちの森づくり・・・平成28年度も植樹・育樹の発注を多くいただきました。「いのちの森づくり友の会基金」については本田技研工業(株)様をはじめ、(株)サンライフ様、三機工業(株)様他より、継続して多額の寄付をいただき、就労支援のため活用させていただきました。また(株)研進と共同で他法人との連携に努めました。2月には神奈川県より植樹・育樹を通じた地球環境保全活動が評価され「かながわ地球環境賞」を受賞しました。
- ⑧ともしびショップ湘南平・・・「学園感謝デー・あじさいまつり」(6/17～19)の開催に合わせて再スタートをしました。月曜日は家族会の「手しごと屋」の皆さんが作業場として活用され、水・木曜日はサンメッセ染めふきん作業班が工房として利用しました。染めふきん作業は家族会の皆さんに縫製や色付けも手伝っていただき、法人の年末あいさつ用として1,600枚を納品しました。
- ⑨福祉ショップ「ありがとう」・・・市内福祉関係団体がひとつになり組織した「ひらつか障がい者福祉ショップ運営協議会」により、平塚市役所の1階東側多目的スペースにて営業しています。サンメッセで事務局を担当しています。販売は順調で、「ありがとう」における進和学園の売上は600万円を超えています。また、FM湘南ナパサの「ナパサクラブ」に企画し、ラジオ番組『バリア！フリフリ天国』を受け持ち2年半が経過、福祉現場からの情報発信、福祉啓発に努めました。

II. 障がい施設運営について

「本人中心」「健康と安全」を基本として、一人ひとりの個別支援計画の目標をもとに支援ができるよう、ほほえみある、さわやかな施設運営に努めました。各施設の機能と役割をもって、児童療育支援を含んだ幅広い年齢層・障がい程度の違う利用者への支援を行いました。高齢の介護度の高い方、行動障がいを伴う方の生活支援と、中・軽度の方の就労支援を推進しました。

1. 防災について

防火管理者会では各事業所の本人防災委員と共同で活動をしています。毎年、平塚市災害対策課、地域消防団の協力のもと、総合防災訓練を行っています。平成 28 年度は、11 月 4 日に土屋・吉沢地区で、11 月 18 日に万田・高根地区で実施しました。事業所毎では月に 1 度、地震や火災などあらゆる災害を想定した非常災害訓練を行いました。また各事業所ごとの BCP(事業継続計画)の見直し、AED・心肺蘇生法の講習会を職員対象に開催し、有事の際には迅速かつ、冷静な対応が出来るようにしています。

2. 保健活動について

利用者ご本人の通院に関する業務や内服薬の管理、毎月の血圧・体重の計測、日常の衛生への呼びかけを実施。また年 2 回の嘱託医による健康診断をはじめ、各種検査（胸部レントゲン、血液検査、尿検査、検便等）の他、口腔健診も実施しました。人間ドック（113 名受診）、婦人科健診（32 名受診）の結果をふまえ、健康の維持・増進、疾病の早期発見・早期治療を図るため個別的な具体策を計画・実施しました。それにより癌など命に係わる疾病の早期発見・早期治療が実施できました。インフルエンザ対策としてはワクチンの接種(全体で 709 名)を実施し、また健康助成規定により職員の間人ドック（112 名受診）も実施しました。

3. 本人活動の充実について

しんわ本人自治会連合会では、「自分で選んで自分で決める」「本人中心」を徹底してまいりました。各施設の活発な自治会活動をもとに毎月の連合会役員定例会を開催し、年 1 回の総会は 6 月 4 日(土) 平塚市西部福祉会館にて開催しました。また本人自治会連合会が中心となり年末募金活動を行い、各団体に皆様の善意をお届けしました。さらに、「しんわ文化スポーツ振興会」との協力体制のもと、余暇の同好会活動と各種行事に積極的に参加しました。

4. しんわさわやか相談室について

法人さわやか相談室は、6 月 18 日(土)に開催し、第三者委員 2 名、ボランティア 1 名、本人代表 3 名、家族代表 2 名に出席していただき、平成 27 年度の各施設及び保育園の相談・苦情実績を報告しました。(施設部門の相談件数 11 件・苦情件数 12 件、保育園部門の意見・要望件数 7 件) 現在、進和学園を利用している方は 500 名程になっており、対応が難しいケースも増えてきていることから、今まで以上の配慮が必要となるため第三者委員の方への協力をお願いしました。また、平成 28 年 11 月 23 日「社会福祉法人進和学園虐待防止対応規程」の施行にともない、「しんわさわやか相談室」要綱も一部改訂となりました。

施設さわやか相談室は、ご本人及びご家族からの相談・苦情を随時受け付け、ご本人の自立を支援してきました。湘南西地区苦情解決委員会では、第三者委員 2 名が各施設を訪問、各施設の本人自治会との懇談や施設見学を行っていただきました。

5. 主な全体行事

①学園感謝デー(あじさいまつり)を、6 月 17 日(金)～6 月 19 日(日)万田・高根地区と土屋・吉沢地区の 2 ヶ所で開催しました。

万田・高根地区では、地域の皆さまをはじめ、平塚市長様、本田技研工業(株)様、日頃よりご支援いただいている方々においていただき、湘南平に植栽した 200 種 4000 本のあじ

さいが美しく咲いている様子を見ていただきました。また、陶芸体験、絵手紙教室、お茶席を催し、自主製品の販売も好調でした。

土屋・吉沢地区では工芸体験、どんぐりポット苗づくり、お花のマグネットづくり、また地域各団体等の音楽コンサートなどを開催しました。最終日には大抽選会が行われ地域皆様との楽しい交流ができました。

- ②第43回平塚市緑化まつりが4月29日(土)～30日(日)の2日間、平塚市総合公園にて開催され、「平塚市民の花なでしこ」の苗約1,000鉢を市民の皆さんにお配りしました。また地域の公民館、自治会館にも苗をお届けし、市民の皆さんよりたくさんの感謝のお言葉をいただきました。
- ③第66回湘南ひらつか七夕まつり(7月8日(金)～10日(日))に出展しました。「思いをつなげよう みんなの輪!～広げよう笑顔のリレー～」をテーマに、毎年ご協力くださっている田中紙店前に3本の竹飾りを掲げました。中央の吹流しの内側にLEDライトを取り付けることで織姫と彦星の貼り絵のシルエットが美しく浮かび上がり、竹飾りコンクール夜の部で入選、昼の部で準入選しました。みんなの笑顔と願いごとで彩り、両側には仙台和紙を使用した5色の折鶴を配しました。星の飾りに入れた鈴の音と和紙の感触を楽しむ方も多く、皆さんに喜んでいただくことができました。
- ④第18回さわやか文化スポーツ大会を、平成28年10月1日(土)「ひらつかサン・ライフアリーナ」(平塚市馬入公園)にて開催しました。参加者は、地域ご来賓はじめ、総勢765名。競技指導者、ボランティアのご指導のもと、13種目の中から本人自らが競技を選んで参加し、スポーツを楽しむ機会を得ることが出来ました。自主製品の販売、絵手紙・生花・その他文化作品の展示を行い、文化・スポーツを通じて、多くの人とふれあい、さわやかな一日を過ごすことができました。
- ⑤本田技研工業様とは、以下のとおり楽しく有意義な時間を過ごすことができました。
 - ・6月17日(金)学園感謝デー・あじさい祭りに、埼玉製作所様より5名が来訪され、HONDA Tシャツをご寄贈くださいました。
 - ・7月17日(日)第87回都市対抗野球大会の応援に、チームHONDとして東京ドームにかけつけました。
 - ・7月31日(日)真夏の祭典(埼玉製作所)に参加。
 - ・12月23日(金)クリスマス交流会に購買業務室・各製作所より9名の皆様が来訪され、たくさんのプレゼントを頂くとともに、サプライズゲストとして野球部の皆様がお越しくださりキャッチボール等楽しみました。
 - ・1月22日(日)埼玉製作所寄居工場で行われた新春駅伝2017に代表して利用者ご本人と職員で参加しました。
- ⑥ボランティアごぐま会様の協力のもと、第12回大山登山を10月29日(土)に計画しましたが天候不順のため中止となりました。各施設では全体旅行を実施しました。
- ⑦旭南地区、土沢地区の社会福祉協議会、自治会、民生児童委員の方々を一日園長としてお迎えして、地域交流を図りました。

6. 月報しんわ

学園の活動報告や情報発信の手段として、年6回、隔月に1,339部発行しています。月報編集委員会が中心となって、読みやすく且つ内容の充実に努めています。関係者はじめ地域、ボランティア、社会ご支援者、行政に配布しています。昨年からはホームページでも公開し、情報開示に努めました。

III. 保育園運営について

市内立野町にある白百合保育園(定員60名)を平成29年3月31日付で吸収合併いたしました。平成29年4月より、保育園名を「白百合保育園」から「しらゆり保育園」に変更し、運営しております。

いずみ保育園は、建替え工事が終了し新園舎での保育がスタートしました。新たな環境に当初戸惑っていた子ども達も、明るく広くなった環境を十分に楽しみ保育活動を行う事が出来ました。

富士見保育園は、神奈川県共同募金会より配分金をいただき、園舎の外壁塗装及びサッシの取替工事など保育環境の整備を行いました。また、開放保育など地域の子育て支援活動にも積極的に努めました。

三つの保育所となり、各園の地域性や特色を大事にしながら、保育の質を高め充実した保育の提供と平塚市の待機児童対策の一端を担います。

つどいの広場どれみは、在宅の乳幼児と親が気軽に集える場として、計 8,360 名の方が利用されました。

IV. 職員の処遇について

一人一役を合言葉に、一人ひとりが学園運営に参加することを主眼に各種事業を展開しました。

1. 職員互助会について

職員の福利厚生を推進するため、法人全職員参加のもとに互助会を設立して 20 年。有効に運用され、職員の安心感は深いものがあります。平成 28 年度は職員健康共済規定出産休業援助事業による出産給付金の支給が 3 名、一般疾病による療養給付金は 7 名が受けています。傷害保険の利用は 17 名でした。しんわ家族会の助成に深く感謝します。

2. 労務について

職員労務委員会と協調してすすめました。厳しい経済情勢ですが、ご本人への支援向上のため互いに努力していく事を申し合わせしました。平成 28 年度は育児・介護休業法の改正に準じた規定の変更、男性職員も子を育てるときに特別休暇が取得できるように就業規則の変更、準職員の期末手当、処遇改善加算分を時間単価に盛り込む等給与規程の変更を行いました。

3. 職員研修について

職員の資質向上のため、各種研修会の実施及び積極的な参加を図りました。特に法人内で実施した研修は、経験年数ごとの「施設現場見学会」(30 名参加)、横須賀基督教社会館への「法人外見学会」(11 名参加)、「法人内交流研修」(10 名参加)、「理事長講話会」(30 名参加)、「施設長等講話会」(25 名参加)、進和学園の現場を知る研修と広い視野で現場での支援に活かしていけるような研修を実施することが出来ました。

講演会は、横須賀基督教社会館の松澤氏に講演を依頼し、10 月 26 日(水)しんわルネッサンスにて「人材育成の取り組み事例について」(91 名参加)を実施し、介護現場での実践に役立てました。また、法人人権委員会と協力して毎日新聞論説委員の野沢氏に講演を依頼し、11 月 17 日(木)しんわルネッサンスにて「人権講演会」(122 名参加)を実施し、人権への意識向上につながりました。

また、11 月 18 日(金)には進和学園職員の親睦交流を図るため、大磯プリンスホテルボウリングセンターにて「職員ボウリング大会」(103 名参加)を実施し、大変有意義な交流会となりました。

4. 永年勤続職員表彰について

平成 27 年度永年勤続者は、勤続 5 年(21 名)、10 年(5 名)、15 年(7 名)、20 年(7 名)、25 年(1 名)、30 年(6 名)、35 年(1 名)計 48 名です。障がい部門は 6 月 13 日(月)に、保育部門は 6 月 21 日(火)に、感謝金を贈り、表彰感謝を実施しました。

職員 375 名のうち継続職員 236 名、嘱託職員 30 名、準職員 109 名となります(常勤職員率 70.9%)。男性職員は 140 名、平均勤続年数 12.6 年、平均年齢 41.1 歳です。女性職員は 236 名、平均勤続年数 8.9 年、平均年齢 43.1 歳です。

V. 理事会・評議員会開催の状況

開催日時	出席者	審議・承認事項
評議員会 平成 28 年 5 月 29 日(日) 10:00～11:30 進和万田ホーム	評議員 14 名 監事 1 名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度事業報告について ・平成 27 年度決算報告について 監事監査報告について
理事会 平成 28 年 5 月 29 日(日) 13:30～15:00 進和万田ホーム	理事 9 名 監事 2 名	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員の委嘱に係る同意について(理事会)
評議員会 平成 28 年 11 月 23 日(水) 10:00～11:40 いずみ保育園	評議員 19 名	<ul style="list-style-type: none"> ・定款変更について ・役員等の報酬等規程について ・平成 28 年度第 1 次資金収支補正予算について ・規程・要綱の策定及び一部改定について <ol style="list-style-type: none"> 1 運営規程の一部改定 2 さわやか相談室要綱の一部改定 3 虐待防止対応既定の策定 4 身体拘束等行動制限対応規程の策定 ・評議員選任・解任委員会細則について(理事会) ・評議員選任・解任委員会の選任について(理事会) ・評議員候補者の推薦について(理事会)
理事会 平成 28 年 11 月 23 日(水) 13:30～16:00 いずみ保育園	理事 10 名 監事 2 名	
評議員会 平成 29 年 3 月 12 日(日) 10:00～11:55 進和万田ホーム	評議員 18 名	<ul style="list-style-type: none"> ・市内社会福祉法人を吸収合併する件について ・定款変更(基本財産増)について ・平成 28 年度第 2 次資金収支補正予算について ・平成 29 年度事業計画(案)について <ol style="list-style-type: none"> 1 法人事業計画・日程について 2 人事計画(職員配置表)並びに採用職員について 3 利用者状況(市町村別一覧)並びに職員構成表について 4 総合支援サービス計画図について 5 生産事業推進計画について (事業計画図・自主製品販売先一覧) ・平成 29 年度当初予算(案)について ・規程・規則の一部改定について <ol style="list-style-type: none"> 1 就業規則(継続職員・嘱託職員) 2 準職員給与規程 3 育児・介護休業既定 4 経理規程 5 グループホーム財産管理既定 6 サンシティ地域活動センター運営規程 7 短期入所の運営規程 8 ルネッサンスの運営規程
理事会 平成 29 年 3 月 12 日(日) 13:30～15:15 進和万田ホーム	理事 9 名 監事 2 名	

平成 29 年 6 月 4 日
社会福祉法人 進和学園